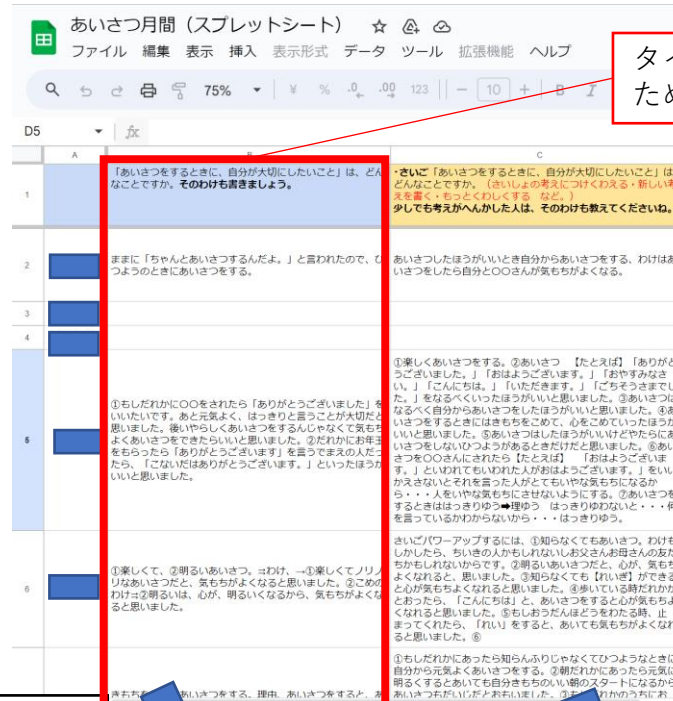


【取組内容①③】「同時共同編集を活用した「対話的な学び」の充実・「構造化」の取り組み（低学年）」

2年生

授業の流れ

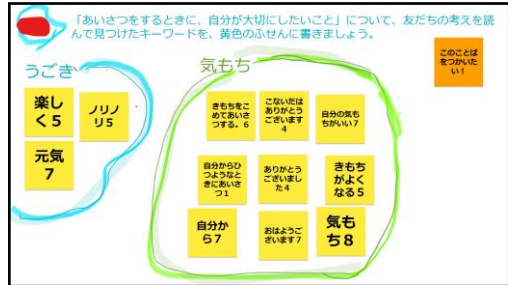
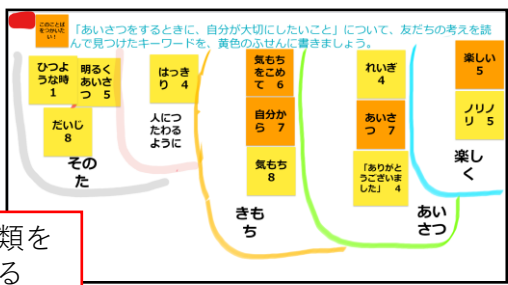
1. 課題の提示
2. はじめの考えを入力
3. 友だちの考えをもとにクラスの考えを構造化
4. ジャムボードやスプレッドシートをもとに、話し合い活動（必要に応じて）
5. 構造化された考えをもとに自分の考えを更新



タイピングに時間がかかるため、家庭で事前に入力

友だちの考えをもとにクラスの考えを構造化

自分の考えに反映



2年生でも、自分なりの分類を  
考えて、構造化に取り組める

【取組内容①】「小規模校におけるクラウドを活用した複式指導の取り組み」

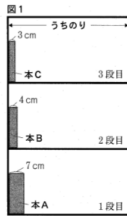
15・6年算数 授業の流れ

喬木第二小学校

○本時のゴール問題を「大」問題と名付け、その問題を解くための手がかりとなる問題を「小」問題と名付けている。

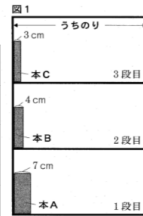
本時のゴール問題  
○厚さ…本A:7cm 本B:4cm 本C:3cm

- 1段目：本Aだけつめて並べていくと、7冊までは並べられたが、できたすき間に8冊目は入らなかった
  - 2段目：本Bだけつめて並べていくと、本B1冊が入らないすき間ができた。そのすき間に本C1冊を入れると、すき間なくピッタリ並べられた。
  - 3段目：本Cだけつめていくと、わずかにすき間ができた。本C1冊を本B1冊に置きかえたら、すき間なくピッタリ並べられた。
- ★このときの本Aのうちのりは何cmか。



ゴール問題の見通し

- 問題文をよく見て、うちのりの長さを求めよう
- 頭の中で本を並べてみて問題文をよく見てうちのりの長さを考える。
- 1段目、2段目、3段目の情報を使って、考える。
- 文章をよく見て本を埋めていけばうちのりがわかりそう。

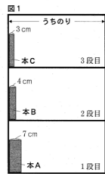


- ①まず子どもたちは、ゴール問題（「大」問題）を読んで、解決の見通しを持つ。  
→ ・どんな考え方、解き方で解決できそうか見通しを持てたら、それを記述し「大」問題に取り組む  
・解決の見通しが持てない場合は、「小」問題に進む。

★「小」問題①

★1段目の様子から、うちのりは何cm から何cmの間だと考えられますか？

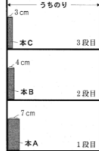
- 厚さ…本A:7cm 本B:4cm 本C:3cm
- 1段目：本Aだけつめて並べていくと、7冊までは並べられたが、できたすき間に8冊目は入らなかった



★「小」問題②

★2段目の本B、3段目の本Cは最大何冊まで入れられますか？

- 厚さ…本A:7cm 本B:4cm 本C:3cm
- 1段目：本Aだけつめて並べていくと、7冊までは並べられたが、できたすき間に8冊目は入らなかった
- 2段目：本Bだけつめて並べていくと、本B1冊が入らないすき間ができた。そのすき間に本C1冊を入れると、すき間なくピッタリ並べられた。
- 3段目：本Cだけつめていくと、わずかにすき間ができた。本C1冊を本B1冊に置きかえたら、すき間なくピッタリ並べられた。



②「小」問題は複数用意されていて、子どもたちが選択して取り組む。順番に取り組んでも良いし、1問取り組んで、「大」問題の解決の見通しが持てれば、記述しそのまま「大」問題に進んでも良い。

- ・子どもたちはジャムボードに自分の考えや解き方を書き込んでいく。必要に応じて友だちのシートを見ることもできるし、友だちの所に出かけて行って、対話することもできる。
- ・教師は自分のタブレットで子どもたちの進捗状況を把握しながら、つまずきのある子どもへ支援に入ったり、解決のヒントを得られるように、子どもどうしの考えをつなげるコーディネーターの役割を担ったりする。

B	
今日のポイント・使った考え方や「こうしたらできるようになった」というポイント・アドバイスを具体的に書こう	
問題に色々大事な隠れ文章があったから、文章問題はしっかり見て考えたいと思った。色々できそうなものもあったけど、段2と段3で同じじゃないとだめだから、そうゆうのも考えたらできました。頭を使ってやると少しは楽になりました。	
最初に1段目ので何へ何まで入れるかを考えてから後のもんだいを答える。最初に、1段目の情報で、50cm以上～56cm未満という事がわかったので、考えやすかったです。奏くんは、1段目、2段目、3段目の順番にやっていたけど、私は、1段目、3段目、2段目の順番で、やりました。表を使って、簡単にまとめられたし、わかりやすく説明出来たと思います。	
当てはめていくと何がちょうどよくなるかで予想が立てられる。	

- ③「大」問題まで解けたら、「振り返りシート」に振り返りを記入する。解決のために使った考え方、「こうしたらできるようになった」というポイントや友だちから得たアドバイスを具体的に書く。
- ④時間があれば発展問題などに取り組む。

これまでの複式指導では、一斉指導をベースに、ずらしとわたりを行って、学習状況を教師が目視で確認していたが、クラウドのモニタリングができるようになったことで、学級間をわたるのではなく、個人をわたる感覚で個別に指導のタイミングが把握できるようになった。また、あくまで子ども主体の学習をベースにしているのが、教師が主導して学習を開始する「ずらし」が必須でもなくなった。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

喬木第二小学校

## 【取組内容①】「小規模校におけるクラウドを活用した異学年の学び」

- 異学年でクラウド上の学習データを参照しながら学び合える。
- 異学年での学びの環境を設定することで、上の学年はより経験をいかして下の学年に教えることができる。下の学年も上級生とは異なる視点を持っていることもあり、異学年で対等に議論ができる。  
⇒学年を超えて刺激しあえる関係になり、自己肯定感の向上にもつながる。
- これまでの、異学年での学習において、課題を用意したり、それぞれの学習を参照するのに多大な手間がかかっていたが、クラウドで簡単に実現できるようになった

各自の取り組みや進捗を把握できる  
「ふりかえり」シートを連学年で作成

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
5年	資料リンク①	資料リンク②	学習記録	めあて	評価	読のスキル① くひかえしの 表現から読 した。	読のスキル② リズムから読 者の伝え たいメッセ ージを感し た。	読のスキル③ 作者の伝え たいメッセ ージを感し た。	読のスキル④ 自分の感じた ことを考えた ことと表現で きた。		
5年	うぐいす		私の学習記録!								
6年	うぐいす		私の学習記録!								
5年	資料①	資料②	私の学習記録!			☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆		
6年	うぐいす		私の学習記録!			☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆		
6年	動物たちの話し方		学習記録!	友達のをしっかり見てわかることをわかって書きて、自分のわがわがすい文を書く		☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆		
6年	うぐいす		学習記録!			☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆		

なげ点( )がついているのか(夏瀬さん)

うぐいす

気づいたこと 両方(2連)とも2行は同じ言葉

武蔵 悦子

うぐいすの読み声に冷たさは関係ある?

春にはったばかり?

うぐいすの読み声に冷たさは関係あるのか?

まとめ うぐいすの高い声で、春の冷たさを感じられたり、宇宙も跳んでる側も一瞬しん、とする

各児童が自分の取り組むファイルを作成し、自分でシートに貼り付け。全員が参照できる仕組みを構築。

僕は2つの文を逆にして考えたけど、季節は、一つの出来事だと思っていて、同じ「ほくほく」を選んでいても、人によって、考えたことや、思ったことも違うことがわかった。

まとめ前の思ったこと

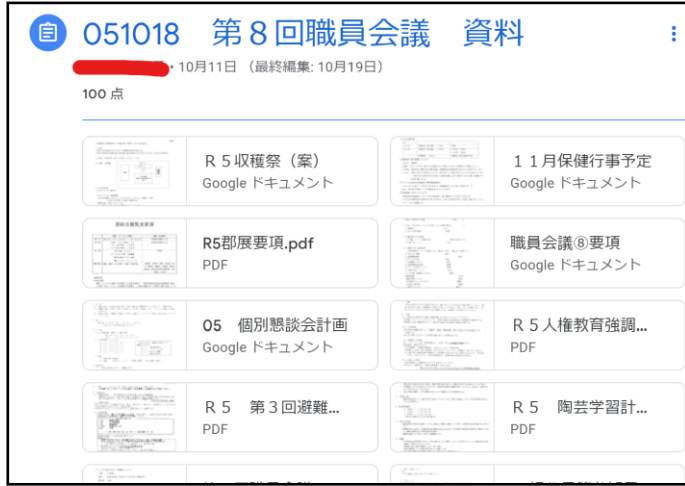
八木 重吉

※複式の授業として各学年の目標を据えつつ、同じ教材もしくは系統的につながる教材(教材は異なるが同じ「書くこと」について扱う教材など)を設定する。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

喬木第二小学校

## 【取組内容④】「職員会・学年会フルクラウド化の取り組み」



### 試行1回目

職員会資料は各担当者がClassroomにそれぞれ投稿

⇒資料の順番がバラバラで見づらいと指摘

次回は、一つのドキュメントに見出しを付けて、資料を直接入力かファイルのリンクを挿入する形に変更

11月6日 (最終編集: 昨日)

(1) これから先の週歴をClassroom学年会要項に、「R 5新週歴」という名前で入れました。

①先生方には、「時間割」についての、先生に報告のうえ、加除修正をお願いします。変更した点は赤色の字にしてください。

②行事欄・出張等の欄については、学校全体に関わること・連学年・学級についての変更点や新たにしたい行事等についての加除修正は、教頭まで報告・連絡・相談をしていただき、調整・決裁のうえ、教頭が修正します。

【順番】 1) 教頭に報告・連絡・相談  
2) (OKであれば) 教頭が新週歴の加除修正  
3) 担当の先生が、外部⇒校務⇒「翌日の連絡」に連絡内容を記入してください。

③次の学年会までにその次の週から2週間分の予定について、見ておいてください。学年会での新たな説明はしないことを基本とするためです。  
※本日の学年会までに見ておいてほしい週歴 第29週・第30週

④学年会の協議事項についても、一度職員会で扱ってある内容、「翌日の連絡」に記載すればOKの内容については説明なし&それぞれで確認、ということにし、学年会で話題にしたいことを児童理解・生徒指導に絞る方向でいきたいと思えます。

**R 5新週歴**  
Google スプレッドシート

R 5新週歴 ☆ ☆ ☆

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

11月6日 令和5年度 第29週 (11月13日~11月19日) 週書 花村 喬木第二小学校

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
5	月	2:35	団	理	理	家				4校生徒指導連絡会議 対芸術祭作品制作19:00開始
6		3:10:45	休	休	休	休				
7		4:11:35	国	算	図	理	理			
8		5:13:40	算	国	算	外				
9		6:14:30	国	体	国			来校者		給食・その他
10		二小	○	○	○	○	○	○		
11		下校	15:10	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00		
12		放課後	教員会							
13		朝の活動	読書							出張・休暇
14	1 4	校務学年	1	2	3	4	5	6	行事等	出張・休暇 : 2h (14:45~)
15	日	1:8:45	生	生	理	理	社	●	児童会 ●陶芸学習(5・6年) ●国語科委員会16:30教育会議 ●1、2年やさいも会準備	4校生徒指導連絡会議 対芸術祭作品制作19:00開始
16		2:9:35	生	理	理	社	●			校長: 臨時C 537-144-44研修会 14:50通信消費表7分
17	火	3:10:45	学	学	体	●	理			
18		4:11:35	国	国	図	算	●	社	来校者	
19		5:13:40	国	国	図	算	●	社		
20		6:14:30	国	算	図	算	●	社		給食・その他
21		二小	○	○	○	○	○	○		
22		下校	15:10	15:10	16:00	16:00	16:00	16:00		
23		放課後	学級事務							

共同編集で週歴を作成  
担当が自分で編集、即時反映で効率化

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

喬木第二小学校

## 【取組内容④】「職員会・学年会フルクラウド化の取り組み」

## クラウド職員会 改善版

職員会議@要項 ☆ 編集 表示 ツール ヘルプ

編集権限をリクエスト

概要  
ドキュメントに追加した見出しがここに表示されます。

第10回職員会議 令和5年12月13日(水) 15:20~15:50 記録

項目	担当者	時間
1 開会・校長指示・伝達	校長	5'
2 反省 ※来年度にかかわる内容について提案・意見		2'
(1) <a href="#">ダンスワークショップ</a>	教頭	
(2) <a href="#">人権教育参観日</a>	教頭	
(3) <a href="#">個別懇談会</a>	教頭	
(4) <a href="#">マラソン大会</a>		
3 児童理解・生徒指導		
(1) 児童についての情報共有	教頭・各担任	8'
4 行事等内容・連絡事項		3'
※検討事項について、意見がほしい場合のみ扱う。(基本的に説明なし)		
(1) CRT・QUについて(口頭)	教頭	
(2) 児童会選挙運動について(保留)		
(3) <a href="#">児童会引き継ぎについて</a>		
(4) <a href="#">5年生第一小との交流について</a>		
(5) <a href="#">漢字検定について</a>		
(6) <a href="#">新たな学びin Takagiについて</a>		
(7) <a href="#">学校視察について</a>	教頭	
(8) <a href="#">PTA役員会について</a>		
(9) <a href="#">陶芸学習今後の日程</a>		
(10) <a href="#">卒業式基本計画</a> <a href="#">会場図</a>		
<a href="#">卒業式進行計画</a> <a href="#">離任式進行計画</a>		
(11) 学校評価アンケート(保護者用)	教頭	
<a href="#">通知</a> <a href="#">アンケート内容</a>		
(12) <a href="#">まっちゃん会について</a>	教頭	
(13) <a href="#">職員・卒業生記念写真撮影について</a>		

リンク先に詳細な内容

- Googleドキュメント内に各資料のリンクを挿入
- 職員会までに事前に目を通すようにする
- 職員会当日は基本的には説明なし

- 資料へのアクセスが楽になった/いつでも資料を閲覧できるので隙間時間で作業できるようになった
- 今まで1時間かかっていた職員会が30分に短縮
- 浮いた時間は事務作業やテーマトークでの児童理解、研修に充てている
- 学年会、教務会も同じ仕組みをとることで、すべての会が有機的につながり、内容が精選された